

『教育研究』原稿執筆要項

Content Revised on April 21, 2025

日本語および英語の両原稿を受け付けるが、以下の規定は**日本語原稿**のみに適用される（英語原稿用の規定は**Author Guidelines for Educational Studies** (English Manuscript)を参照のこと）。

1. 投稿原稿の種類と長さ

『教育研究』に掲載する原稿は「**研究論文（審査付き）**」、「**研究ノート**」、「**ノート**」、「**書評**」、「**博士論文要旨**」の5種類である。

① 研究論文（審査付き）

教育に関する理論、研究、実践に関する論文。原稿は編集長、編集委員、関係領域の研究者によって審査される。原稿の長さは本文、図、表、引用文献、和文要旨、英文要旨、キーワードなど**全て含めて**10,000～20,000字とする。

② 研究ノート

教育における、今後研究の発展が期待される新しい知見や、問題提起を含む萌芽的研究に関する小論文。原稿の長さは本文、図、表、引用文献、和文要旨、英文要旨、キーワードなど**全て含めて**8,000～12,000字とする。

③ ノート

- 1) フィールドノート：教育プログラムにおける革新的プロジェクト、応用、介入に関する小論文。原稿の長さは本文、図、表、引用文献など**全て含めて**3,000～9,000字とする。
- 2) その他：注釈、文献目録等。原稿の長さは本文、図、表、引用文献など**全て含めて**3,000～9,000字とする。

④ 書評

近年刊行された教育関連の学術図書に関する見解および批評。原稿の長さは3,000字前後とする。

⑤ 博士論文要旨

当該年度と前年度に提出された博士論文を対象とする。和文要旨と英文要旨を併記する。和文は4,000字以内、英文は1,000語以内とする。

2. 投稿原稿の形式

① 研究論文（審査付き）

原稿は横書きとし、句読点は「。」(マル)「,」(全角カンマ)とする。原稿は、テンプレートを使用せず、文字の大きさを10.5ポイント以上とし、余白を上下、左右3cm以上とって、A4判に印字する。

② 研究ノート, ③ ノート, ④ 書評, ⑤ 博士論文要旨

原稿は横書きとし、句読点は「。」(マル)「,」(全角カンマ)とする。原稿は、『教育研究』用テンプレートを利用し、A4判に印字する。

3. 原稿準備

① カバーシート

原稿には、次の諸事項を記入したカバーシート(A4判)を必ず付けて提出する(カバーシート(和文原稿)参照)。

- 原稿の種類
研究論文, 研究ノート, ノート, 書評, 博士論文要旨の別を明記する。
- 表題
日本語の表題ならびにその英訳を表記する。
- 投稿者情報
投稿者名にはローマ字書きを添え、所属先は英訳を添える。連名の場合は各々について明記する。この他に、連絡者、連絡先住所、電話番号、Eメールを記す。
- 要旨の長さ
和文要旨の文字数と英文要旨の語数を表記する。
- 原稿本文の長さ
図、表、引用文献、和文要旨、英文要旨、キーワード等、全てを含めた文字数を表記する。
- 著作権情報および原稿のオリジナリティ
文面はカバーシート(和文原稿)参照。**必ず自署のこと。**

② チェックリスト

原稿提出にあたりチェックリストの項目を確認した上、署名をする。提出された原稿が項目に合致していない場合、原稿の掲載が見送られることがある。

③ 原稿

- 表題
日本語の表題ならびにその英訳を表記する。
- 要旨とキーワード

研究論文と研究ノートには、要旨（和文要旨を 400 字程度、英文要旨を 250 語程度とする）とキーワード（3～5 項目）を日英両語で添える。

- 本文
内容のまとまりごとに段落をつけ、適宜、章節等に分ける。
- 注
注は論文の末尾に入れる「**末尾注**」とする。脚注は使わないこと。
- 引用文献
-

④ 図・表ファイル

本文とは別に、**図・表ごとに**ファイルを作成する。図・表は添付される出典・注釈などの字句も一式にして鮮明なものを用意する。図・表の大きさは、出典情報などを含め最大で、横14 cm、縦19 cmに収める。最終的な掲載サイズは編集委員会が決定する。提出原稿の文中に各々の図・表の掲載位置を明示する。

※章・節等の表記

本文の中で章・節等の記号をつける場合には、章は「1.」、「2.」、第1章第1節は「1.1」のようにし、以下これに準ずる。

※APAスタイル

原則として、文献の引用形式は、*Publication Manual of the American Psychological Association*（第7版、2020年発行）に従う。以下の点に注意すること。

- 出典から直接引用した箇所には、著者・出版年だけではなく、該当箇所のページ番号を記載する
- 引用文献リストについては、表記は一般的な日本語表記とアルファベットの範囲とし、配列は和文文献と欧文文献とを分けず、記載順序は第一著者の姓のアルファベット順、次いで刊行年次順とすることを原則とする。
- 文献番号はつけない。同一著者の文献が複数ある場合、あるいは同一配列の著者名による共著の文献が複数ある場合には、刊行年次の古いものから順に並べる
- 文献のデータは正確で完全なものでなければならず、本文中に引用した文献は必ず引用文献リストに載せなければならない
- 引用文献にDOIが付与されている場合は、それも併せて記載すること

以下に一般的な引用文献リストの記載例を挙げる。詳細は、APA Style Help

(<http://www.apastyle.org/apa-style-help.aspx>) を参照のこと。

和文の単行本の場合

安田 三郎・海野 道郎 (1977). 社会統計学改訂2版 丸善

和文の編著書中の論文の場合

竹内 郁郎 (1982). 受容過程の研究 竹内郁郎・児島和人 (編) 現代マス
コミュニケーション論 (pp. 44-79) 有斐閣

和文の逐次刊行物の場合

芳賀 純 (1963). 日本人学生の学習した英語名詞の意味構造の比較研究
教育心理学研究, 11(1), 33-42.

欧文の単行本の場合

Spitzberg, B. H., & Cupach, W. R. (1984). *Interpersonal communication
competence*. SAGE Publications.

欧文の編著書中の論文の場合

Winton, W. M. (1990). Language and emotion. In H. Giles & W. P. Robinson
(Eds.), *Handbook of language and social psychology* (pp. 33-49). Wiley.

欧文の逐次刊行物の場合

Zajonc, R. B. (1980). Feeling and thinking: Preferences need no inference.
American Psychologist, 35(1), 151-175.
<https://doi.org/10.1037/0003-066X.35.2.151>

インターネット上の資料の場合

国際基督教大学教育研究所 (2024). お知らせ 国際基督教大学教育研究
所 Retrieved from
<http://subsite.icu.ac.jp/iers/en/announcement/2020-2021.html> (2024年6月7
日)

注) 電子媒体からの引用は、必ずコピーを取って保管し、編集委員会からの請求
があった場合、速やかに提出できるようにする。著者名、年号、資料題名、サイ
ト名、アップデート日、<URL>、(資料にアクセスした日)の順に記載する。

新聞記事および雑誌記事の場合

* 署名記事の場合

本田 麻由美 (2004). がんと私 (1) 米国の病院で意見聞きたい 朝日新

聞 4月19日朝刊 3.

* 署名記事ではない場合

朝日新聞 (2004). がんと私 (1) 米国の病院で意見聞きたい 4月19日朝刊 3.

4. AI 及び LLMの使用方針 (詳細は、APA の方針を参照にすること)

- (1) APA ガイドラインに基づき、投稿原稿の作成に生成 AI や LLM ツールを使用した場合、その使用を開示し、研究方法の項目において明記すること。
- (2) AI を著者として投稿原稿に記載することはできない。
- (3) 投稿原稿で AI を引用する際には、APA のソフトウェア引用テンプレートを使用し、AI の使用方法、使用時期、および使用範囲を研究方法の項目において明確に記載すること。著者は、生成 AI によって出力した全文を補足資料として添付すること。

5. 原稿提出

原稿及び図表ファイルは、Microsoft Wordで開くことが出来る形式のものとPDFの両方で準備する。カバーシート及びチェックシートは、PDFで準備する。それらを、Eメールに添付して送付する。なお、不測の事態に備えて投稿者の手元に必ずバックアップを残すこと。

[提出先]

国際基督教大学教育研究所

『教育研究』編集委員会

E-mail address: es-iers@icu.ac.jp

表見本

表1 南米・アジア・アフリカの主要国の識字率

国名	識字率 (%)	
	男性	女性
A 国	86.2	86.5
B 国	92.5	83.4
C 国	82.1	65.5
D 国	95.1	86.5
E 国	53.4	28.5
F 国	50.3	31.1
G 国	74.4	59.4

(出所) 国際花子 『XXXX』 YY 出版, 2015 年, p. 23 のデータにもとづき筆者作成。

(注) 2014 年 12 月時点で人口が 1.5 億人以上の国を対象とした。

図見本

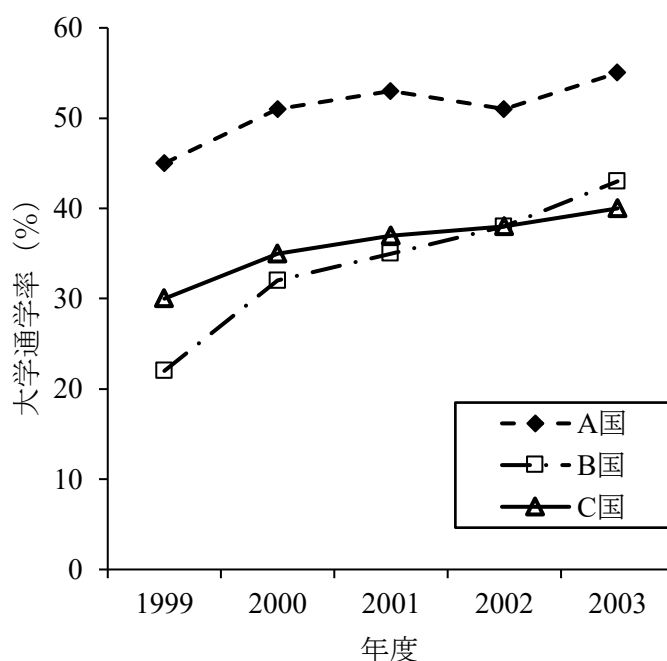


図1 1999 年から 2003 年度における 3 カ国の大学通学率

カバーシート（和文原稿）

- (1) 原稿の種類 : 研究論文
- (2) 表題
- 主題 : 聾者の空間認識能力および動体視力の検討
- 副題—— : ——健聴者との比較を通して——
- English title : Examining the Spatial Reasoning Capacity and Dynamic Visual Acuity of Deaf Persons and Hearing Persons
- : English subtitle : Through Comparison with Normal Hearing Persons
- (3) 投稿者情報
- 氏名 : 国際 花子 (KOKUSAI, Hanako)
- 所属先 : 国際基督教大学 (International Christian University)
- E-mail address : XXX@XXX.XXX
- ☒ 責任著者（連絡者）の場合はチェックを入れ、住所を記入する。
- 住所 : 〒181-8585
東京都三鷹市大沢 3-10-2 T-419
- (4) 要旨の長さ
- 英文要旨 : 192 語
- 和文要旨 : 396 字
- (5) 本文の長さ : 13,560 字
- (6) 原稿のオリジナリティおよび著作権情報 :

本論文の提出に際し、私は以下に相違ないことを認めます。

- (i) 本論文は著者自身によるオリジナルの論文であり、過去に公刊されたことはなく、現在他誌へも投稿しておりません。また、本論文で使用した全ての資料は適切に引用しています。
- (ii) 論文中の質問項目、図表、写真等の引用・転載に関しては、投稿者の責任において印刷および電子媒体での使用許可（複製、公開、公衆送信する許可）を書面で著作権所有者から得ています。
- (iii) 国際基督教大学教育研究所は (a) 本論文を電子媒体によって複製、公開、公衆送信する権利、また、(b) これらの業務を外部機関に委託する権利を有します。

日付 2025/08/10

署名
(自署)

国際 花子

Author Guidelines for *Educational Studies*

(English Manuscript)

Content Revised on April 19, 2024

Updated on April 21, 2025

Manuscripts can be submitted either in Japanese or English. The following principles apply in the case of **English manuscripts**.

1. Types of Manuscript and Length

(a) **Research Articles (Refereed):**

scholarly articles that feature theory, research, and/or best practice in education.

Submissions will be reviewed by the editor-in-chief, editors, and/or other scholars. (4,000 – 8,000 words)

(b) **Research Notes:**

shorter pieces describing exploratory research, findings and/or insights in education. (2,500 – 4,000 words)

(c) **Notes:**

1) *Field Notes* - shorter pieces describing innovative projects, applications, or interventions in education programs. (1,000 – 3,000 words)

2) Other Notes such as Annotations / Bibliographies. (1,000 – 3,000 words)

(c) **Book Reviews:**

opinion pieces and reviews of recently published scholarly books on topics relevant to education. (about 1,000 words)

(d) **Doctoral Dissertation Abstracts** (of current or previous academic year). (about 1,000 words in English and 4,000 letters in Japanese)

The word count includes title, abstract, keywords, main text, references, notes /acknowledgements, figures, tables, and all others.

2. Format

(a) **Research Articles (Refereed):**

Manuscripts should be A4 size (**not** letter-size); leave uniform margins of at least 3 cm at the top, bottom, left, and right of every page; and be double-spaced.

※ Research Articles (Refereed) contributors do **NOT** use the *Educational Studies* template.

(b) **Research Notes, (c) Notes, (d) Book Reviews, and (e) Doctoral Dissertation Abstracts:**

Manuscripts should be submitted using the *Educational Studies* template in A4 size (**not** letter-size).

3. Manuscript preparation

(a) **Cover sheet:** A cover sheet including the following information should be submitted:

- Type of the manuscript
- Title of the manuscript (both in English and Japanese)
- Author Information (both in English and Japanese)
Names of authors (indicating a corresponding author) and affiliations, postal address(es), phone number(s), and e-mail address(es)
- Number of words in English abstract and number of letters in Japanese abstract
- Total number of words of the manuscript including title, abstract, keywords, main text, references, notes/acknowledgements, figures, tables, and all others
- Copyright clearance information and confirmation of originality (see sample cover sheet below): **Author's signature is required.**

(b) **Checklist:** Check the guidelines and sign the sheet after marking all the boxes. **Note that your manuscript may be rejected if it does not follow the guidelines.**

(c) **Manuscripts:** Submitted manuscripts must contain the following information:

- Title (both in Japanese and English)
- Abstract and keywords:
In case of Research Articles or Research Notes, include both English and Japanese abstracts (approximately 250 words in English and 400 letters in Japanese), and three to five keywords both in English and Japanese should be included.
- Body of the manuscript (divided into sections and subsections)
- Notes:
Special remarks/acknowledgements should be indicated in endnotes. Footnotes should NOT be used.
- References

(d) **A separate file** including:

- Figures and Tables:
All figures and tables should be saved in a separate file and be in a camera-ready format. Each figure and table should be typed on a single, separate page, identified separately by Arabic numerals, and accompanied by an explanation or caption (see Figure 1 and Table 1 below for examples; Note format for captions). The size of figures and tables should not exceed 14 cm x 17 cm, including the sources. The final

size of figures and tables will be determined at the discretion of the Editorial Board. Indicate in the manuscript where to insert each figure and table (e.g., Insert Figure 1 about here).

※ Sections/sub-sections

Where chapter sub-divisions are necessary, sections should be indicated by numbers '1.', '2.', etc. The sub-section number should follow the section number and should be followed with a dot. Thus, sub-section 1 of section 1 is '1.1'. The same rule applies to the addition of further sub-sections.

※ APA style

In general, the Journal follows the recommendations of the Publication Manual of the American Psychological Association (7th ed., 2020).

- Please follow APA7 format style.
- All Japanese references should be followed by the English translation as shown in the examples below.
- Follow the author-date method of citation in text.
- Ensure you provide page numbers for all direct quotes.
- Prepare an unnumbered reference list in alphabetical order by author. When there is more than one article by the same author(s), list the earliest paper first. Ensure that all references are accurate and that any references cited in the text also appear in the reference section.
- If there is a DOI (digital object identifier) number, please include it.

Below are some examples of the basic reference list format. For more information on citing sources, visit APA Style Help (<http://www.apastyle.org/apa-style-help.aspx>).

Book in Japanese

Yasuda, S., & Umino, M. (1977). *Shakai tokeigaku* [Social statistics] (2nd ed.). Maruzen.

Chapters in edited books in Japanese

Takeuchi, I. (1982). Juyo katei no kenkyu [The study of acceptance processes]. In I. Takeuchi & K. Kojima (Eds.), *Gendai masu komyunikeishon-ron* [Mass communication]. (pp. 44-79). Yuhikaku.

Periodicals in Japanese

Haga, J. (1963). Nihonjin gakusei no gakushu shita eigo meishi no imi kozo no hikaku kenkyu [A comparative study of the semantic structure of English nouns learned

by Japanese students]. *Kyoiku Shinrigaku Kenkyu* [Japanese Journal of Educational Psychology], 11(1), 33-42.

Books

Spitzberg, B. H., & Cupach, W. R. (1984). *Interpersonal communication competence*. SAGE Publications.

Chapters in edited books

Winton, W. M. (1991). Language and emotion. In H. Giles & W. P. Robinson (Eds.), *Handbook of language and social psychology* (pp. 33-49). Wiley.

Periodicals

Zajonc, R. B. (1980). Feeling and thinking: Preferences need no inferences. *American Psychologist*, 35(1), 151-175. <https://doi.org/10.1037/0003-066X.35.2.151>

Sources on the Internet

International Christian University Institute for Educational Research and Service.
(2024, June 7). *Announcement*. Institute for Educational Research and Service.
<http://subsite.icu.ac.jp/iers/en/announcement/2020-2021.html>

* When you quote an Internet document, please store a copy in digital format. Whenever possible, submit a copy of this document to the editorial board. A reference to an Internet source should provide the author's name (institutional affiliation if available), date of publication on the Internet, document title or description, date of retrieval and the URL.

Daily newspaper and articles

Honda, M. (2004, April 19). Cancer and I (1) hospital opinions in America. *Asahi Shimbun*, p. 3.

No author

Cancer and I (1) hospital opinions in America (2004, April 19). *Asahi Shimbun*, p. 3.

4. **AI and LLM policy** (Please refer to the APA policy for further clarification)

- (1) In accordance with APA guidelines, usage of generative AI and LLM tools must be disclosed when employed in drafting a manuscript, and the use must be cited in the methods section.
- (2) AI cannot be named as an author in a publication.
- (3) When AI is cited in a publication, authors must use the APA software citation template, specifying in the methods section how, when, and to what extent generative AI was used. Authors are required to upload the full output of the generative AI as supplemental material.

5. Submission

Manuscripts shall be sent to the IERS office (see below). Contributors shall submit: 1. Cover sheet, 2. checklist in the form of a PDF document, and 3. manuscript (and 4. figures and tables if applicable) in both forms of a word processing document (plain text file, rich text file or MS Word file) and a PDF document via e-mail.

The Editorial Board of *Educational Studies*,
Institute for Educational Research and Service,
International Christian University
[E-mail address]
es-iers@icu.ac.jp

Sample table

Table 1

Literacy Rate in Selected Countries From South America, Asia, and Africa

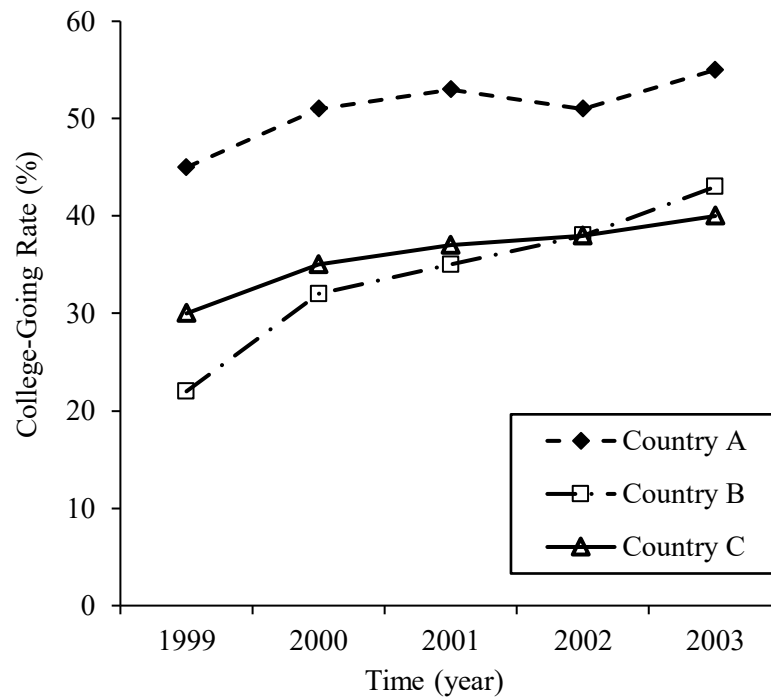
Country	Literacy Rate (%)	
	Male	Female
Country A	86.2	86.5
Country B	92.5	83.4
Country C	82.1	65.5
Country D	95.1	86.5
Country E	53.4	28.5
Country F	50.3	31.1
Country G	74.4	59.4

Note. Adapted from “XXX of ZZZZ” by H. Kokusai, 2015, *Journal of XYZ*, 25, p. 23. Copyright 2015 by YY Association. These countries are selected based on the population exceeding one hundred and fifty million people as of December 2014.

Sample figure

Figure 1

College-Going Rates From 1999 to 2003 in Three Countries



Sample Cover Sheet (for English Manuscripts)

- (1) Type of the manuscript : Research Article
- (2) Title of the manuscript (both in English and Japanese)
- English title : Examining the Spatial Reasoning Capacity and Dynamic Visual Acuity of Deaf Persons and Hearing Persons
- : English subtitle : Through Comparison with Normal Hearing Persons
- Japanese title : 聾者の空間認識能力および動体視力の検討
- Japanese subtitle- : ——健聴者との比較を通して——
- (3) Author Information (Both in English and Japanese)
- Name : KOKUSAI, Hanako (国際 花子)
- Affiliation : International Christian University (国際基督教大学)
- E-mail address : XXX@XXX.XXX
- ☒ Tick a box if you are the corresponding author and fill in your postal address.
- Postal address : T-419 3-10-2 Osawa, Mitaka-shi, Tokyo 181-8585, Japan
- (4) Number of Words in English Abstract and Number of letters in Japanese Abstract
- English abstract : 192 words
- Japanese abstract : 396 letters
- (5) Total Number of Words in the Manuscript : 4,756 words
- (6) Confirmation of Originality & Copyright Clearance Information :

- (i) I confirm that this contribution is original and my own work. It has not been published previously, has not been submitted to other journals, and I properly cite all of the sources I have used.
- (ii) I guarantee that I will obtain permission from *Educational Studies*, on every copyright owner's final acceptance, to reproduce, make public and distribute, in print and electronic form, any copyrighted work, including, for example, test materials, figures, tables, and photographs of people.
- (iii) I agree that (a) the IERS reserves the right to convert all materials published in the *Educational Studies* to digital format and to reproduce, make public, and distribute in said format and that (b) the IERS reserves the right to entrust the task to organizations outside the IERS.

Date August 10th, 2024

Signature

(hand-written)

Hanako Kokusai